

| | | | | | | |
|------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 総合科目〈総合科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 健康科学 | | | 11333 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 殿垣 哲也 | 選択 | 1 | 県立高等学校教員 | | | |

授業の到達目標

本講義では、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）に掲げられている、現代社会における諸問題、特に保健（環境汚染）、ジェンダー、エネルギー、気候変動について深く掘り下げ、将来持続可能な社会を担う学生が、生涯における自身の健康管理だけでなく、社会の一員として活躍するための知識と実践力を身につける。
この授業では、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）およびS（奉仕）を養う。

授業の概要

講義形式および適宜アクティブラーニング（グループディスカッション）を行う。
保健（環境汚染）に関する知識として、水俣病を取り上げ、環境汚染が社会に及ぼす影響について理解を深める。
ジェンダーに関する知識として、SOGI（Sexual Orientation & Gender Identity）、LGBTについて理解を深める。
エネルギーに関する知識として、原子力発電と環境への影響について理解を深め、今後のエネルギー問題へ主体的に関わっていくための力を養う。
気候変動に関する知識として、地球温暖化のメカニズムとその地球規模での対策の重要性を理解し、実践力を養う。
なお、授業に関する感想と意見を書き込む授業ノートを作成し、次の授業ではグループディスカッションで意見等を交流させ、双方向での学習の場とする。

授業計画

- 1 オリエンテーション
講義内容、授業の進め方、評価方法について説明
- 2 ジェンダーについて考える①
SOGI, LGBTについて
- 3 ジェンダーについて考える②
SOGI, LGBTについて
グループディスカッション
- 4 エネルギー問題について考える①
原子力発電所と再生可能エネルギーについて
- 5 エネルギー問題について考える②

- 原子力発電所と再生可能エネルギーについて
グループディスカッション
- 6 環境汚染について考える①
水俣病について
- 7 環境汚染について考える②
水俣病について
グループディスカッション
- 8 まとめ
評価テスト

授業の方法

授業に関する感想と意見を書き込む授業ノートを作成し、次の授業ではグループディスカッションで意見等を交流させ、双方向での学習の場とする。

準備学修

日常や社会における健康に関する諸問題について、新聞やメディアなどを通じて意識を高めておく。
（Webで参照すること）

課題・評価方法、その他

- 1）レポート：受講した授業内容から選択し、レポートを提出する
- 2）評価方法：定期試験：70%、授業時の感想ノート：30%

欠席について

神戸海星女子学院大学の欠席条件に合わせる。

テキスト

使用しない。

教員連絡先

gymgymclub@gmail.com
090-2197-9555

| | | | | | | |
|------------|-----|----|--------------|------|-----|------|
| 総合科目〈総合科目〉 | クラス | | 科目コード | 配当年次 | 期 間 | 人数制限 |
| 健康スポーツ 1 | ①/② | | 11337 | I | 秋 | |
| 担当者名 | 区分 | 単位 | 科目と関係のある実務経験 | | | |
| 殿垣 哲也 | 選択 | 1 | 県立高等学校教員 | | | |

授業の到達目標

本講義では、近代スポーツを教材化し、みんなが楽しめるスポーツを体験し、スポーツ文化を創造していく過程を学ぶことで、主体者としてスポーツに関わっていくことができるようにする。また、スポーツの上手い下手で固定的な縦の価値観を持つのではなく、みんなが上手くなる水平の価値観に変革する。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、A（自律）I（知性）及びS（奉仕）を養う。

授業の概要

ネット型、ゴール型、ベースボール型の教材をさらに教材化し、初心者と上級者をつなぎ、みんなが楽しみ上手くなることを目指す。
ネット型ではスポンジボールを用いたショートテニス、ゴール型ではアメリカンフットボールを安全に配慮したフラッグフットボール、ベースボール型では3人対3人で行うベース3 on 3を教材として行う。

授業計画

- 1 オリエンテーション
ショートテニス①
基礎技術の習得
- 2 ショートテニス②
ラリー選手権①
- 3 ショートテニス③
ラリー選手権②
- 4 ショートテニス④
リーグ戦
- 5 フラッグフットボール①
1対1、2対2の攻防
- 6 フラッグフットボール②
3対3の攻防と作戦づくり
- 7 フラッグフットボール③
4対4の作戦づくり
- 8 フラッグフットボール④
4対4のゲーム
- 9 フラッグフットボール⑤
4対4のリーグ戦

- 10 ベース3 on 3①
基礎技術の練習、2対2の攻防
- 11 ベース3 on 3②
3対3の戦略・戦術づくり
- 12 ベース3 on 3③
3対3のゲーム
- 13 ベース3 on 3④
3対3のゲーム
- 14 ベース3 on 3⑤
3対3のリーグ戦
- 15 まとめ

授業の方法

実技中心の授業である。
正当な事由があるときは見学とレポート提出を課す。

準備学修

スポーツに関心を持ち、ニュース、新聞、Web等でスポーツに関する情報を獲得するよう努める。日頃より運動を取り入れて健康管理に努める。

課題・評価方法、その他

毎回授業内容の記録をすること。課題と発表に対するフィードバックは授業の中で行う。
評価方法、平常点70% 定期試験30%

欠席について

規定に従う。
欠席はマイナス評価の対象とする。

テキスト

プリント配布

留意事項

運動に相応しい服装と運動用靴で臨むこと